

セッション3 運動器

座長：城内若菜

演題番号14 氏名：山口亮治

	質問	演者回答
1	60分以内治療するという事は、2単位か3単位の請求を行うのでしょうか？1ヶ月は二人ともでしょうか？1ヶ月に何日ぐらい治療を行いますか？	今回の2症例とも実験を目的としていたため、点数請求しておりません。症例1は、看護学生で昼休みの時間（45分）を利用して1月で8回行い、症例には人吉から八代に週1回通ってもらい1月で4回、時間は1時間で治療行いました。

演題番号15 氏名：秋吉保乃加

	質問	演者回答
1	THAの場合後側方侵入が多い印象ですが、前方、後方など侵入方法の違いによる差はありましたか。	質問ありがとうございます。今回は前方、後方侵入分けずに研究を行い発表しましたが、両者間で比較すると差は見られませんでした。
2	パンフレットを使用した動作指導を行っているとの事ですが、具体的な内容や指導時に先生が気をつけている事がありましたら、教えてください。また、指導を行った事による患者様の動作面や心理面の変化がありましたら、教えてください。	質問ありがとうございます。パンフレットには禁忌動作、日常生活動作など基本的なことを記載しておりますが、実際指導を行なって行く際はより患者様の自宅環境に配慮した訓練を行っております。動作に不安などを生じる患者様に対しては自助具の検討も行っております。患者様は術前することができていなかった動作ができるようになり退院に繋がられており満足度も上がっていると思います。

演題番号 1 6 氏名：中村勇人

	質問	演者回答
1	使用される中で、どのようなケースに効果的と考えられていますか。またうまくいかなかったケースがありますか。	運動恐怖に対する評価の点数が高く、痛みにより荷重での成功体験が少ない、痛みに対してネガティブなイメージがある患者様に効果的だと考えています。うまくいかなかったケースに関しては今回はシングルケースでの介入だったため今後ケース数を増やし、検討していきます。

演題番号 1 7 氏名：野村伊央里

	質問	演者回答
1	発表お疲れ様です。TKA後の早期の歩行獲得の必要性について再確認することができました。質問です。TKA後に膝屈曲角度の影響から、stiff knee gaitを呈する症例もおられるかと思えます。退院までに歩行自立された方の膝関節のROMはおおよそどのくらいでしょうか？対象者の平均最大膝屈曲角度を自動・他動で教えていただきたいです（股関節等のROM制限や術式自体の限界もあるかと思えますが）。	ご質問ありがとうございます。今回の研究では他動での屈曲角度を使用して検討を行いました。対象者の他動での平均最大屈曲角度の平均は121.7度でした。今回検討していない自動での屈曲角度は追跡可能であったのが54例のうち35例で平均は117.0度でした。

演題番号 18 氏名：濱寄 挙

	質問	演者回答
1	<p>介護保険が必要だけれども申請がまだで入院中に申請を行うケースではより退院が遅れてしまう印象です。このような方は今回対象には入っていませんか。今回の結果をもとに予後予測を行い、転院支援はスムーズ化していますか。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。質問内容の通り入院中の申請により退院が遅れてしまうケースも対象に入れてあります。今回の結果をもとに当院の圧迫骨折患者の転院支援方法を再確認が出来たことにより、個人的ではありますがスムーズ化に繋がっていると考えます。</p>